

# 第 61 回日本電気泳動学会総会プログラム

## 第 1 日目 [9 月 18 日 (土)]

### [一般演題]

9:30~10:20 座長 豊田 実 (札幌医科大学)

1. 日本産野生マウス由来の近交系間の染色体マイクロサテライトマーカーの差異  
○吉田 治弘<sup>1</sup>・松島 芳文<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>専修大・法学部  
<sup>2</sup>埼玉県立がんセンター臨床腫瘍研究所……………(10)
2. マウス肝炎ウィルスのモニタリングにおける簡便なアガロースゲル電気泳動の活用—ウィルスを分離・増殖せずに Nested RT-PCR による同定—  
○小柳 充<sup>1</sup>・三ツ井敏明<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>新潟大・農・遺伝子  
<sup>2</sup>新潟大・自然科学系……………(11)
3. COLD-PCR と High Resolution Melting 解析の遺伝子変異スクリーニングにおける有用性  
○石川 仁子・谷口 照美・前川 真人  
浜松医科大学医学部・臨床検査医学……………(12)
4. オンチップ電気泳動システムによる RNA サンプルの質的評価について  
◎竹田 真由<sup>1,2</sup>・船渡 忠男<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東北福祉大学健康科学部医療経営管理学科  
<sup>2</sup>大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻……………(13)
5. 非絶食時におけるトリオレイン・リン酸同時投与後のラット血清成分の変動  
○入野 勤<sup>1</sup>・松下 誠<sup>2</sup>・村本 良三<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>元埼玉県立大  
<sup>2</sup>埼玉県立大・臨床化学  
<sup>3</sup>心臓血管研究所附属病院臨床検査部……………(14)

### [シンポジウム]

10:20~12:00

#### 60 年の実績を次世代へ

司会 金光 房江 (倉敷中央病院)  
平野 久 (横浜市立大学大学院)

1. アイソザイム電気泳動を振り返って  
前川 真人 (浜松医科大学)……………(6)
2. キャピラリー電気泳動法の推進に向けて  
志村 清仁 (福島県立医科大学)……………(7)
3. 二次元電気泳動法を振り返って  
戸田 年総 (東京都健康長寿医療センター研究所)……………(8)
4. 親和電気泳動法の今日  
中村 和行 (山口大学大学院医学系研究科)……………(9)

### [日本電気泳動学会児玉賞授賞式・受賞講演]

13:40~14:40

司会 戸田 年総 (東京都健康長寿医療センター研究所)

1. がんにおけるエピゲノム異常の解析とトランスレショナルリサーチ  
豊田 実 (札幌医科大学大学生化学講座)……………(1)
2. 電気泳動法を用いたがん個別化医療のためのバイオマーカー開発  
近藤 格 (国立がん研究センター研究所)……………(2)

### [特別講演]

14:45~15:45

司会 今井 浩三 (東京大学医科学研究所)

- ピロリ菌がんタンパク質 CagA による胃がん発症の分子機構  
畠山 昌則 (東京大学大学院医学系研究科)……………(3)

### [一般演題]

15:50~16:30

座長 船渡 忠男 (東北福祉大学)

6. 臨床検体と大型蛍光二次元電気泳動法を用いた大腸がんのプロテオーム解析  
◎武藤 太和<sup>1,2</sup>・水島 洋<sup>2</sup>・廣橋 説雄<sup>1</sup>・谷口 浩和<sup>3</sup>・藤田 伸<sup>4</sup>・近藤 格<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立がん研究センター研究所 プロテオーム・バイオインフォマティクス・プロジェクト  
<sup>2</sup>東京医科大学歯科大学医歯学総合研究科 生命情報学研究室  
<sup>3</sup>国立がん研究センター中央病院 臨床検査部  
<sup>4</sup>国立がん研究センター中央病院 大腸外科……………(15)

7. ヒト胃発がん過程における APC 遺伝子 1A のメチル化は passenger である  
 ○細谷 浩介・渡邊 嘉行・伊東 文生  
 聖マリアンナ医科大学消化器・肝臓内科……………(16)
8. 大腸洗浄液を用いた新しい大腸癌の診断方法  
 ◎山本英一郎<sup>1</sup>・神前 正幸<sup>1</sup>・鈴木 拓<sup>1,2</sup>・篠村 恭久<sup>2</sup>・今井 浩三<sup>3</sup>・豊田 実<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>札幌医科大学化学講座  
<sup>2</sup>札幌医科大学第一内科  
<sup>3</sup>東京大学医科学研究所……………(17)
9. 多発性骨髄腫における DNA メチル化の網羅的解析と治療抵抗性予測への応用  
 ◎安井 寛<sup>1,2</sup>・石田 禎夫<sup>1</sup>・野島 正寛<sup>1,3</sup>・青木 由佳<sup>1,2</sup>・丸山 玲緒<sup>1,2</sup>・多羅澤 功<sup>1</sup>・池田 博<sup>1</sup>  
 鈴木 拓<sup>1,2</sup>・林 敏昭<sup>1</sup>・酒井 基<sup>4</sup>・麻奥 英毅<sup>5</sup>・今井 浩三<sup>6</sup>・篠村 恭久<sup>1</sup>・豊田 実<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>札幌医科大学内科学第一講座  
<sup>2</sup>札幌医科大学化学講座  
<sup>3</sup>札幌医科大学公衆衛生学講座  
<sup>4</sup>手稲溪仁会病院血液内科  
<sup>5</sup>広島赤十字・原爆病院検査部  
<sup>6</sup>東京大学医科学研究所先端医療研究センター……………(18)

16:30～17:20 座長 伊東 文生 (聖マリアンナ医科大学)

10. アルツハイマー病患者剖検組織切片を用いた直接 MS イメージング解析およびアミロイド関連タンパク質の免疫組織学的検索  
 ○中西 豊文<sup>1</sup>・葦澤 崇<sup>2</sup>・吉岡 正則<sup>1</sup>・田窪 孝行<sup>1</sup>・Richard・M・Caprioli<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>大阪医科大学・臨床検査医学  
<sup>2</sup>日本ブルカー・ダルトニクス  
<sup>3</sup>バンダービルト大学 MS 研究センター……………(19)
11. 膀胱癌患者尿中に含まれる腫瘍関連自己抗体の探索  
 ◎南 尚<sup>1,2</sup>・松本 俊英<sup>1,2</sup>・影山 泰平<sup>1,2</sup>・松本 和将<sup>3</sup>・佐藤 雄一<sup>1,2</sup>・岡安 勲<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>北里大学大学院医療系研究科細胞組織病理学  
<sup>2</sup>北里大学医療衛生学部臨床検査学  
<sup>3</sup>北里大学医学部泌尿器科……………(20)
12. 非小細胞肺癌患者血清中の自己抗体の網羅的解析とその有用性の検討  
 ◎小林 信<sup>1</sup>・松本 俊英<sup>2</sup>・影山 泰平<sup>2</sup>・柳田 憲吾<sup>1</sup>・龍華慎一郎<sup>3</sup>・蔣 世旭<sup>2,4</sup>・岡安 勲<sup>2,4</sup>  
 佐藤 雄一<sup>1,2,5</sup>  
<sup>1</sup>北里大学大学院医療系研究科分子病態診断学  
<sup>2</sup>北里大学大学院医療系研究科細胞・組織病理学  
<sup>3</sup>北里大学医学部呼吸器内科  
<sup>4</sup>北里大学医学部病理学  
<sup>5</sup>北里大学医療衛生学部臨床検査学……………(21)
13. 非小細胞性肺癌におけるシスプラチン感受性予知マーカーの網羅的探索  
 ◎影山 泰平<sup>1,2</sup>・松本 俊英<sup>1,2</sup>・龍華慎一郎<sup>3</sup>・岡安 勲<sup>1</sup>・佐藤 雄一<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>北里大学大学院医療系研究科細胞・組織病理学  
<sup>2</sup>北里大学医療衛生学部臨床検査学  
<sup>3</sup>北里大学医学部呼吸器内科……………(22)
14. 神経内分泌肺癌における腫瘍関連自己抗体の同定—網羅的同定からその validation まで—  
 ◎松本 俊英<sup>1,2</sup>・小林 信<sup>2,3</sup>・影山 泰平<sup>1,2</sup>・柳田 憲吾<sup>2,3</sup>・龍華慎一郎<sup>4</sup>・蔣 世旭<sup>1,5</sup>  
 岡安 勲<sup>1,5</sup>・佐藤 雄一<sup>1,2,3</sup>  
<sup>1</sup>北里大学大学院医療系研究科細胞組織病理学  
<sup>2</sup>北里大学医療衛生学部臨床検査学  
<sup>3</sup>北里大学大学院医療系研究科分子病態診断学  
<sup>4</sup>北里大学医学部呼吸器内科学  
<sup>5</sup>北里大学医学部病理学……………(23)

[教育講演 I] 17:20～18:00 司会 佐藤 豊二 (北里大学保健衛生専門学院)

- アルカリ性フォスファターゼの構造と機能の最近の進歩  
 萩田 二一 (東部医学技術専門学校・日本医科学研究所)……………(4)

## 第2日目 [9月19日(日)]

### [一般演題]

9:10~9:30 座長 横濱 道成 (東京農業大学)

15. 超遠心法を用いた Royal jelly 中可溶性蛋白質の新規抽出法の構築  
◎野崎 怜雄<sup>1,2</sup>・河野 透<sup>2</sup>・村田 清志<sup>1</sup>・人見 信之<sup>1</sup>・山口喜久二<sup>1</sup>・田村 彰吾<sup>3</sup>・森山 隆則<sup>4</sup>  
1 ジャパンローヤルゼリー  
2 旭川医大消化器病態外科学分野  
3 北大大学院保健科学院  
4 北大大学院保健科学研究院.....(24)
16. Major royal jelly protein 1 (MRJP1) oligomer 構成低分子蛋白質 Apisimin の分子特性解析  
◎田村 彰吾<sup>1</sup>・河野 透<sup>2</sup>・野崎 怜雄<sup>2,3</sup>・山口喜久二<sup>3</sup>・小林 清一<sup>4</sup>・森山 隆則<sup>4</sup>  
1 北大大学院保健科学院  
2 旭川医科大学消化器外科  
3 ジャパンローヤルゼリー株式会社  
4 北大大学院保健科学研究院.....(25)

9:30~9:50 座長 本庄 利男 (麻布大学)

17. 集団発生した食品媒介レンサ球菌感染症原因菌の産生する病原因子の解析  
◎菅野 武史・坂口 和子・鈴木 潤  
麻布大学大学院・環境保健学・病態生化学.....(26)
18. 高圧下の電気泳動法—一口類乳酸脱水素酵素 A の耐圧機構の解明—  
◎西口 慶一<sup>1</sup>・阿部 文快<sup>2</sup>・内田 朗<sup>3</sup>・三輪 哲也<sup>4</sup>・加藤 千明<sup>4</sup>・佐藤 孝子<sup>4</sup>・久保田宗一郎<sup>3</sup>  
安井 金也<sup>5</sup>・大島 範子<sup>3</sup>・佐藤 浩之<sup>3</sup>・五郎丸美智子<sup>1</sup>・伊藤 展枝<sup>3</sup>・岡田 光正<sup>3</sup>  
1 東邦大学・薬学部  
2 青山学院大学・理工学部  
3 東邦大学・理学部  
4 海洋研究開発機構  
5 広島大学・大学院理学研究科.....(27)

9:50~10:30 座長 中西 豊文 (大阪医科大学)

19. 酸化ストレスによるラミンのリン酸化と分子シャペロン複合体形成のプロテオーム解析  
◎戸田 年総・中村 愛  
東京都健康長寿医療センター研究所・老化機構研究チーム.....(28)
20. 潰瘍性大腸炎粘膜生検材料におけるプロテオミクス解析法を用いた酸化ストレスの解明  
◎荒木 香代<sup>1,3</sup>・三上 哲夫<sup>1,2</sup>・佐藤 雄一<sup>1,3</sup>・岡安 勲<sup>1,2</sup>  
1 北里大学大学院医療系研究科細胞組織病理学  
2 北里大学医学部病理学  
3 北里大学医療衛生学部臨床検査学.....(29)
21. プロテオーム解析による臨床検体を用いたがんの個別化医療のためのバイオマーカー開発  
近藤 格  
国立がん研究センター研究所 プロテオーム・バイオインフォマティクス・プロジェクト.....(30)
22. ヒト 26S プロテアソームのリン酸化による機能調節  
◎木村 弥生<sup>1</sup>・永田佳代子<sup>1</sup>・菅原 英俊<sup>2</sup>・井野 洋子<sup>1</sup>・野村 文子<sup>1</sup>・小原 収<sup>2,3</sup>・鶴殿平一郎<sup>2</sup>  
平野 久<sup>1</sup>  
1 横浜市大院 生命ナノシステム科学研究科  
2 理研 RCAI  
3 かずさ DNA 研.....(31)

### [教育講演 II]

10:30~11:10 司会 櫻林郁之介 (自治医科大学)

- 法医学分野における電気泳動法の活用  
吉岡 尚文 (秋田大学).....(5)

### [展示企業発表]

11:15~11:55 司会 鈴木 潤 (麻布大学)

1. 新規な電気泳動用試薬の開発について  
小林 崇良  
関東化学(株) 試薬事業本部.....(41)

2. 非接触電気伝導度検出器 (C4D) のマイクロ流体デバイスへの応用  
 ○渡邊 雅信<sup>1</sup>・森 清昭<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>アクト・サイエンス株式会社  
<sup>2</sup>バイオリサーチセンター株式会社……………(42)
3. ミュータスワコー i30 による臨床支援  
 稲田 育代  
 和光純薬工業株式会社……………(43)

**[昼食・ランチオンセミナー]** 12:00～13:00 司 会 日野田裕治 (山口大学大学院医学系研究科)

Herikobacter pylori の診断と治療  
 間部 克裕 (KKR 札幌医療センター 消化器科医長)  
 協賛企業: 大塚製薬株式会社

**[一般演題]** 13:10～14:00 座 長 芝 紀代子 (文京学院大学)

23. M 蛋白解析への 3 次元電気泳動法の開発  
 ◎中野 恵一<sup>1</sup>・重村 雅彦<sup>2</sup>・清水 力<sup>2</sup>・田村 彰吾<sup>1</sup>・大塚 浩平<sup>3</sup>・新関 紀康<sup>1,4</sup>・松野 一彦<sup>2,3</sup>  
 小林 清一<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>北海道大学大学院保健科学院  
<sup>2</sup>北海道大学病院検査・輸血部  
<sup>3</sup>北海道大学大学院保健科学研究所  
<sup>4</sup>旭川医科大学病院臨床検査・輸血部……………(32)
24. M タンパク糖鎖構造に着目した多発性骨髄腫の病態解析  
 ○飯島 史朗・松下麻衣子・服部 豊  
 慶應義塾大・薬学部……………(33)
25. Cibacron Blue F3G-A に強い親和性を示す monoclonal IgE の分子性状  
 ◎稲葉 千紘<sup>1</sup>・市川 尚子<sup>1</sup>・片山 史子<sup>1</sup>・亀子 文子<sup>1</sup>・小林香保里<sup>2</sup>・池田 昌伸<sup>2</sup>・竹村 譲<sup>2</sup>  
 吉岡 尚文<sup>3</sup>・櫻林郁之介<sup>4</sup>・藤田 清貴<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>信州大学医学部保健学科  
<sup>2</sup>佐久総合病院臨床検査科  
<sup>3</sup>秋田大学  
<sup>4</sup>自治医科大学  
<sup>5</sup>千葉科学大学大学院危機管理学研究科……………(34)
26. 肝切除後に一過性に IgG 型 M 蛋白が出現し PIVKA-II 偽高値を示した患者血清の非特異反応について  
 ○井本真由美<sup>1</sup>・鷹家優美子<sup>1</sup>・渡辺 勝紀<sup>2</sup>・吉田 浩二<sup>3</sup>・中居 卓也<sup>4</sup>・森嶋 祥之<sup>1</sup>・内藤 昭智<sup>1</sup>  
 上碓 俊法<sup>1,5</sup>  
<sup>1</sup>近畿大学医学部附属病院 中央臨床検査部  
<sup>2</sup>栄研化学 (株) 生物化学研究所  
<sup>3</sup>近畿大学医学部 生化学  
<sup>4</sup>同附属病院 外科学  
<sup>5</sup>同附属病院 臨床検査医学……………(35)
27. 電気泳動法を用いた HDL 分画解析の意義—生活習慣について  
 ◎津崎こころ<sup>1</sup>・小谷 和彦<sup>1,2</sup>・山田 俊幸<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>(独) 国立病院機構京都医療センター 臨床研究センター 予防医学研究室  
<sup>2</sup>自治医科大学 臨床検査医学……………(36)

14:00～14:40 座 長 梶原 英之 (農業生物資源研究所)

28. 分子マトリクス電気泳動法を利用するバイオマーカー探索ストラテジーの構築  
 ◎松野 裕樹<sup>1</sup>・董 偉傑<sup>1</sup>・横山 勢也<sup>2</sup>・米澤 傑<sup>2</sup>・成松 久<sup>1</sup>・亀山 昭彦<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>産総研・糖鎖医工学研究センター  
<sup>2</sup>鹿児島大学大学院・医歯学総合研究科……………(37)
29. 分子マトリクス電気泳動法による親和電気泳動へのアプローチ  
 松野 裕樹・董 偉傑・成松 久・○亀山 昭彦  
 産総研 糖鎖医工学研究センター……………(38)
30. 高分子量リン酸化蛋白質解析のための改良型 Phos-tag 電気泳動法  
 ○木下 英司・木下恵美子・小池 透  
 広島大学 大学院医歯薬学総合研究科 医薬分子機能科学研究室……………(39)
31. 量子ドット技術を用いた多重蛍光同時染色法による蛋白質翻訳後修飾の網羅的解析  
 ○大石 正道<sup>1</sup>・小寺 義男<sup>1,2,3</sup>・前田 忠計<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>北里大・理・物理・生体分子動力学  
<sup>2</sup>北里大・理・疾患プロテオミクスセンター  
<sup>3</sup>千葉大・病院・疾患プロテオミクス研究部門……………(40)

[若手研究者のためのワークショップ]  
14:50～16:50

みんなで考える異常検体の解析の進め方・実験操作法のポイント

司 会 藤田 清貴 (千葉科学大学大学院)  
大石 正道 (北里大学理学部)

演 者

石嶺 南生 (信州大学医学部附属病院臨床検査部)

山本はるな (千葉大学医学部附属病院検査部)

荒木 香代 (北里大学大学院医療系研究科細胞組織病理学)

松本 俊英 (北里大学大学院医療系研究科細胞組織病理学)